

令和6年9月24日（火） 全校集会 校長講話

- それでは、みんなでお昼の挨拶をしましょう。桜っ子の皆さん、こんにちは。
- 今日は、急に体育館に集まることに変更してしまい、ごめんなさい。オンラインではなく、皆さんにどうしても直接話したい大切なことが2つあるので集まってもらいました。それをこれから話します。

- まず1つ目です。これは、1学期の始業式に、桜っ子に守ってほしい3つの約束としてお話した内容のうちの一つですが、もう一度話します。
「自分がされて嫌なことは、ほかの人に絶対にしない」ということです。残念ながら、このところ、桜っ子が、友達とのトラブルが原因で相手にけがをさせてしまったり、けがまではいっていないけど痛い思いをさせてしまったり、相手の気持ちを考えない乱暴な言葉を使ったり、そんな心無い言葉で相手の心を傷つけたり、お友達の物を勝手にさわったり、時には隠したり・・・ということがあるというお話を立て続けに聞きました。トラブルの中には、わざとではないけれど、たまたまぶつかってしまったというものも含まれてはいますが、周りを注意深く見ていれば防げるものも多いと思います。
- 「たまたま」ではなく、「わざと」の行いは、これは問題です。心当たりのある人は、今すぐやめてください。「自分がされて嫌なことは、やられた相手も嫌な気持ちになります。」そして、それを「いじめ」と言います。繰り返しますが、「いじめ」は絶対に許しません。そのような行いがあったときは、先生たちが厳しく指導していきます。

- 今日お話ししたいことの2つめ。それは「いじめ」の反対、「思いやり」のお話です。各教室の、黒板の上に「学校教育目標」が貼ってあります。これは、桜川小の子供たちに、こんな子になってほしいという願いを目標にしたものです。その3つの目標の真ん中にあるのが「思いやりのある子」です。皆さんは友達のどんな行動を「思いやりがある」と感じますか。自分が困っているときに助けてくれた、わからないことを親切に教えてくれたなど、色々あると思います。そんな「思いやり」あふれる行動への表彰を、これから始めていきたいと思っています。困っている人に親切にする、まわりの人が幸せな気持ちになるような行動をする、そのような素敵な行いを「さくら賞」として、表彰していきます。

- そこで、「素敵な行い」をしている桜っ子がいないか、まずは先生方に探してもらいました。そして、報告をしてもらいました。これからその人たちを紹介していきます。名前を呼ばれたら、返事をしてその場で立ってください。校長先生に報告があった順に紹介します。
(別紙を参照し、紹介)

- 桜っ子の皆さん、今立っている18人に大きな拍手を送りましょう。それでは、立っている人は座ってください。
- 今紹介した皆さんには、この「さくら賞」の賞状を授与しますので、後ほど、校長室に取りに来てください。

- このように、人に親切にしていた友達、人のためやクラス、学校のために頑張っていた友達、周りの人が感動したり、幸せな気持ちになるような素敵な行いをしていた友達を皆さんも見つけて、校長先生に教えてほしいと思います。校長室前にこのような「報告書」の紙を置いておきますので、その紙に「〇年〇組の誰が、どんな素敵な行いをしていたかを書いて、来賓玄関のところにポストを置いておきますので、その中に入れてください。もちろん、校長先生に直接渡してくれても構いません。報告書の紙は、各クラスの担任の先生にも何枚かずつ配っておきたいと思いますので、先生からもらってもいいです。

- 素敵な行いをした人と、それを見つけた人、どちらも素晴らしいと思います。そして、どちらも、「思いやりのある子」です。

- 大切な2つのお話は以上です。各クラスでも、この内容について、話し合ってみてください。担任の先生方、よろしくお願いします。

- 桜川小が「いじめのない」「思いやりあふれる」素敵な学校になるように、これからも頑張っていきましょう。10月は運動会もありますね。みんなで協力して、素敵な運動会にしていきましょう。

- お話を終わりにします。